

調達管理番号・案件名
26a00562_エクアドル国キト市公共交通の安全運行及びモビリティマネジメント強化(国別研修)(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2026/9/4

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	16	第3条2. (7)アクションプラン実践状況の確認及び助言	アクションプラン実践状況の確認及び助言について、定期的なオンラインでの状況確認の際、英西の通訳については費用を計上できるのか。それとも対象国の便宜供与の中で示されている、2. エクアドルでの通訳の配置(英西)に含まれるということでしょうか。	オンラインでの状況確認を実施する場合、英西の通訳費用を計上可能です。
2	16	第3条2. (7)アクションプラン実践状況の確認及び助言	「現地での助言にあたっては、日本の学識者及び有識者の渡航も想定する。」とありますが、学識者及び有識者の渡航に受注者も全スケジュール同行し、必要な助言を一緒に実施することを想定されているのか、あるいは受注者の提案内容に合わせてスケジュールが確定されるという想定か、どちらを想定すればよろしいでしょうか。また、「実施状況の確認及び助言の方法」や20頁2行目の「⑤成果5に関わる活動の1.」の検討にも関係するため、もし、学識者及び有識者の渡航に受注者も全スケジュール同行し、助言を一緒に実施することを想定されている場合には、学識者及び有識者の渡航回数と各回の渡航日数について示していただくことは可能でしょうか。	学識者及び有識者の渡航と、受注者の渡航スケジュールを合わせる必要はなく、各者スケジュール調整の結果渡航時期が異なることも支障ありません。受注者の渡航スケジュールは提案内容に合わせて確定願います。
3	17	第4条2. 4)活動	本邦研修の開催期間はいずれも約12日となっているが、エクアドル⇄日本の移動日、また日本滞在中の週末(土日)は日数に含むのでしょうか。	エクアドル⇄日本の移動日、また日本滞在中の週末(土日)は日数に含み12日間を想定しています。調整の結果日数が多少前後することも相談可能です。
4	33	1. (2)業務量の目途	直近上記の質問とも関連しますが、業務量の目途について、本邦研修に係る業務量を除くと約1.25MMと理解しています。一方、本業務では4回程度の現地渡航に加え、20頁2行目にあるとおり、第一回本邦研修終了後からの定期的なモニタリングが想定されています。定期モニタリングについては、各渡航時における確認・助言や渡航間の本邦からのオンラインでのフォローアップ等が16頁23行目以降に記載されていますが、業務実施の過程で、より継続的なモニタリングや追加的な現地対応等が必要となった場合には、本指示書で想定される業務範囲を超える対応として、必要な業務量及び実施方法について別途協議することが可能との理解でよろしいでしょうか。	原則、現行人月で実施可能な提案を願います。

5	34	1.(3)業務従事予定者の経験、能力	業務主任者の格付けは2号を目安とされている一方、本邦研修にかかる定額計上では事前と同行については3号となっております。ここは同一人物で対応すべきと考えていますが、格付けが違う理由は为什么呢。	本邦研修に係る業務の定額計上のうち、事前業務については全案件共通で、3号0.4人月、5号1.0人月固定となっております。当案件の同行については、3号0.45人月/回で積算していますが、提案、見直し可とさせていただいています。
6	36	3.(3)定額計上について	本邦研修の定額計上の額の中には、研修先における手配した会議室の費用、同行者の航空賃を除く交通費などは別途請求できるという理解でしょうか。	研修先における手配した会議室の費用、同行者の航空賃を除く交通費等は定額計上内で別途請求可能です。

以上